

地域社会との密接な関係を築こう

－「東部地区明るくたくましい子を育てる会」との連携を中心に－

西尾市立東部中学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本校は、西尾市の北東部に位置し、運動場からは、毎年盆に「かぎ万灯」と呼ばれる火祭りが行われる標高 160 余メートルの万灯山が正面に見える。学校の周りは田畑に囲まれ、自然豊かな環境の中にある。また、校区内には、大企業の工場があり、そこで働く保護者も多い。

本年度は、全校生徒数 3 2 3 名、1 1 学級、P T A 会員数 2 8 6 名である。3 世代同居家庭の割合が高く、学校に協力的であり、学校行事への保護者の参加も非常に多い。

2 研究のねらい

発足して 2 0 年以上の歴史をもつ「東部地区明るくたくましい子を育てる会」の組織の一員として、本校の P T A 役員も加わっている。町内会長をはじめ、歴代の校区内の小学校・本校の P T A 役員が中心になって活動する会である。この会の行事や学校行事へのより多くの保護者・地域の方の参加を促し、生徒と地域の関わりを深めていく。

3 研究の仮説

地域で生徒が活動する機会が増えれば、地域の人々の学校への関心が高まり、地域との絆が深まっていくであろう。

4 研究の実践

(1)「東部地区明るくたくましい子を育てる会」の行事への参加

ア 東部地区クリーン運動

7 月 2 3 日に、町内ごとに清掃活動を行った。町内会長と相談の上、P T A 委員が中心になって活動を進めた。この行事は、小、中学生、地域の団体も参加する、校区内の一大イベントとなっている。

開・閉会行事の進行を地区の P T A 委員が行い、生徒代表もその中で挨拶をした。

ごみを拾いながら、普段はあまり話すことのない地域の方たちとの会話も進んだ。

ゴミの多さに驚き、袋にいっぱいのごみを拾うことができた。終わった時には、生徒は充実感に満ちた表情をしていた。また、捨てないようにしようという意識を育てる機会にもなった。



<説明をする P T A 委員>

イ さつまいもの収穫祭

6月に苗をさし、7月に草取りをして手入れをしてきたさつまいもの収穫を、10月22日に行った。学校西の畑に、地域の親子連れが大勢集まり、歓声を上げながらいも掘りを楽しんだ。今年は参加者も多く、畑が人で埋まった。

幼児や小学生を手伝う中学生、地域の大人と力を合わせる中学生など、普段は交流することのない世代との交わりが、いも掘りを通して生まれた。



<いも掘りを楽しむ生徒>

ウ ふれあいコンサート

1月の最終土曜日に、園児、小学生、中学生の演奏会を本校体育館で行っている。司会はPTA役員が務める。本校からはオーケストラ部が参加した。「頑張っているのは、運動部だけじゃないね」「これからもオーケストラ部の演奏を定期的に聴かせてほしい」など、参加者の学校への見方が広がり、関心が高まった。

(2) 学校行事への参加

ア 資源回収

年3回、5月、9月、1月の土曜日に、校区の各家庭に協力をお願いして資源回収を行っている。PTA委員と生徒が各家庭を回り、各地区の集積場所まで集めている。

生徒の活動の様子を見ていた地域の方から、「ありがとう」「助かるよ」「よくやってくれるね」と声をかけられ、地区の人との交流が生まれている。

イ 長圓寺マラソン

毎年12月に、学校行事として「長圓寺マラソン」を行っている。万灯山を登る約6kmのコースである。PTA委員が、交通立哨を行い、生徒の安全に目を配っている。

また、このマラソン大会には、地域の方も参加し、生徒と一緒に走る。完走後は、PTAのお汁粉と、「東部地区明るくたくましい子を育てる会」のさつまいも料理が、生徒に振る舞われる。

互いに声をかけ合いながら走る姿や、お汁粉やさつまいも料理を味わいながら、互いの健闘を讃える姿に、地域との絆の深まりを感じる。



<スタート直後>

5 成果と今後の課題

11月に行われた「東中文化のつどい」には、平日にもかかわらず、250名もの保護者の参加があった。また、知らないうちに学校の周りの草刈りが行われていることもある。本校の同窓会も、「先輩の話を聞く会」を主催し、生徒のキャリア教育のために講演会を実施している。学校への関心の高さと、地域の協力的な姿勢の表れである。これに応えるためにも、PTA役員・委員の各行事への積極的な参加を促し、行事の継続と活性化を図るとともに、地域との絆をいっそう深めていきたい。